

タウンミーティング（中川地区）

「中川地区の防災対策における課題」

1	災害が起こったとき、独居老人の方々への知らせ方は？
2	大地震により、中山川の橋脚が破損（崩壊）したとき、河南地区の避難所及びその運営はどうか。
3	西条市の洪水・防災（地震）マップ上での避難場所として、中川公民館、中川小学校、丹原西中学校、B&G海洋センターとなっているが、災害内容によっては、中山川の橋が通れない場合もある。そのとき、河南地区としては、B&G海洋センターのみとなるが、土地が低いとため、浸水の恐れがあり、高台の避難場所が必要かと思う。
4	台風等の大雨のとき、明穂地区は、山からの雨水が、山の池（上）から（下）、そして河川へと流れるが、ここ数年、河川が氾濫し、住宅に流れ込み、床下浸水する箇所ができています。この中には、集会所も該当しており、建物自体が心配である。何かのとき、避難放送ができない場合も起こりうる。対応考慮中である。
5	防災の放送は、聞こえない。（何を言っているのか分からない。）雨の中では、老人は避難できない。（家に車に乗る人がいればよいのだが）地区で、誰が誰をというように割り当てていけば別だが。
6	高齢者が多い地域なので、全世帯への声掛けがスムーズにできるシステムなどを確実なものにしておく。 防災無線の音が、室内にいと（特に冬時期）聞き取りにくい。
7	自力避難困難者の避難方法は、どうすればよいか。
8	中川地区の避難所には、車いすで使用できるトイレがない。 近くに避難所があるのに、そこを通り過ぎて遠くの避難所に行かなくてはいけない。 小学校と中学校の避難場所について、早期の開設を希望する。
9	公民館と小・中学校の避難所開設及び運営について、一度合同研修を設け、継続的な取組の確認があると、より安心できる。